

第19期 決算公告

埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷四丁目2番11号

AGSプロサービス株式会社

代表取締役社長 小金井 忠夫

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	608,937	流動負債	275,140
現金及び預金	389,624	買掛金	36,401
売掛金	213,363	未払金	8,902
前払費用	5,198	未払費用	166,108
預け金	750	未払消費税	36,584
		未払法人税等	20,012
固定資産	50,171	未払事業所税	1,234
有形固定資産	175	預り金	5,895
建物附属設備	0	固定負債	25,148
機械装置	0	退職給付引当金	12,600
器具備品	175	長期未払金	12,548
無形固定資産	2,290	負債合計	300,288
ソフトウェア	2,290	純資産の部	
投資その他の資産	47,705	株主資本	358,819
長期差入保証金	4,182	資本金	30,000
長期前払費用	362	利益剰余金	328,819
繰延税金資産	41,960	利益準備金	7,500
ゴルフ会員権	2,200	繰越利益剰余金	321,319
貸倒引当金	△1,000	(うち当期純利益)	(102,337)
		純資産合計	358,819
資産合計	659,108	負債及び純資産合計	659,108

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産・・・定率法
- ② 無形固定資産・・・定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員に対する退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

過去勤務費用は、発生時の事業年度に一括して費用処理しております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により按分した金額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

(3) 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行业務の内容、及び当該履行业務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下の通りであります。

① 情報処理サービス

情報処理サービスにおいては、市区町村窓口業務、銀行システムの運用やBPOサービスなどを提供する「アウトソーシング」を行っております。役務の提供を行う場合は利用実績に応じて顧客に役務を提供した時点で収益を認識しております。

② その他情報サービス

その他情報サービスにおいては、AGSグループ内、市区町村窓口、一般先に要員を派遣する人材派遣サービスを行っております。役務の提供を行う場合は利用実績に応じて顧客に役務を提供した時点で収益を認識しております。

(4) 会計方針の変更

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 31 号 2021 年 6 月 17 日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第 27-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、計算書類に与える影響はありません。

2. 追加情報

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を見通すことは困難であります。当社の会計上の見積りに与える影響は限定的であると考えております。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響については、不確定要素が多いことから、収束時期の遅れなど今後の状況の変化により当社の将来の財政状態及び経営成績に重要な影響を及ぼす可能性があります。